

温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

東京濾器株式会社 広島工場

(2) 事業所の所在地

広島県安芸高田市向原町坂360

(3) 業種

3113 自動車部分品・付属品製造業

2 計画の期間

本計画の期間は、平成28年度を基準年度とし、平成29年度から平成33年度までの5年間とする。

3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量（t-CO₂），削減率（％）

温室効果ガスの種類	基準年度実排出量 (a)	目標年度		計画期間の実績 (上段:実排出量(d), 下段:削減量の対基準年度比 (e))							
	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	
エネルギー起源CO2			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
非エネルギー起源CO2			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
メタン			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
一酸化二窒素			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
その他温室効果ガス			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
温室効果ガス実排出量総計			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
温室効果ガスみなし排出量											
実績に対する自己評価	実績に対する自己評価										

※ 削減率(c) = ((b)-(a))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標： **生産量(千個)**

温室効果ガスの種類	基準年度の実績 (a)	目標年度		計画期間の実績 (上段:原単位実績(d), 下段:削減量の対基準年度比 (e))				
	平成28年度	平成33年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	
エネルギー起源CO2	3.15	2.99	3.03	2.96				
		-5.1	3.8	6.0	100.0	100.0	100.0	
非エネルギー起源CO2		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
その他温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
温室効果ガス排出量総計		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
エネルギー消費原単位(原油換算kl)	1.21	1.15	1.16	1.14				
		-5.0	4.1	5.8	100.0	100.0	100.0	
実績に対する自己評価	エネルギー使用量は固定的な設備が多く、その上で生産量が増えたので、原単位が減少した。							

※ 削減率(c) = ((b)-(a))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1	電気使用量の削減	コンプレッサーの電気使用量を5%削減	コンプレッサーから設備への配管でエアールールが漏れているところを修繕してコンプレッサーの稼働を抑制
2	蛍光灯をLEDへ更新	対象の蛍光灯の電気使用量を30%削減	蛍光灯をLEDへ更新し、電気使用量を抑制
3	蛍光灯をセンサー式へ更新	対象の蛍光灯の電気使用量を70%削減	常時点灯していた蛍光灯をセンサー式に変更したことで、一時的に点灯するだけとし、電気使用量を抑制
4			

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		
2		
3		

○ その他の取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1			
2			
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。